

東芝、山下電子・情報通信月間にギガビットで表彰

6月1日通信総合研究所本所にて、情報通信月間表彰式が行われギガビットVLBIの機器を開発した東芝、山下電子、両社が表彰されました。株式会社東芝映像事業部、映像システム部は1ギガビットVLBIシステムの開発にあたりギガビットレコーダの開発を担当しシステムの構築に多大な貢献を頂きました。また株式会社山下電子設計は1ギガビットVLBIシステムの開発にあたりシステムを構成するのに不可欠な時系制御システムの構築に多大な貢献をいただきました。今回ギガビットVLBIという一つのプロジェクトではありますが、表彰は研究成果への貢献が大きかった両社に対して行われました。飯田所長より感謝状を各社お受取りいただき、授章式のあとの懇談では開発時の苦労話、今後のVLBIの機器開発などの話題となりました。1ギガビットVLBIを達成しているのは、この2年間、未だCRLのグループのみで、VLBI技術開発センターとして世界をリード、大きな責務を果たし成果もまとまりつつあります。CRLがギガビットで果たすべき役割としては、今後データ記録のデファクトスタンダードとなるであろう並列ギガビット伝送の標準インターフェース化（VSI規格）、ギガビットVLBIの国際基線への展開などがあります。関係会社には引き続きご尽力をお願いいたします。

また今回は、宇宙技術開発株式会社（SED）の皆様も電波の日団体表彰を受けられました。SEDは長期にわたり首都圏地殻変動観測KSPプロジェクトでVLBIの定常観測に協力頂いています。

（JN記）

マルチメディアによる授章式会場



表彰状と一緒に東芝スタッフ



表彰状と一緒に山下電子スタッフ